

狭山池シンポジウム2012（第3回）

○開催日

2012年12月1日

○テーマ

ため池築造と偉人

○内 容

3回目となる今回のシンポジウムでは、東アジアのため池築造と管理に深くかかわった歴史上の人物に注目し、3人のパネリストの先生方からご報告いただきました。

飛鳥時代に築かれ、現代まで受け継がれてきた狭山池が、世界の歴史・文化の中でどのような位置にあるのか、狭山池の価値と魅力を再発見するとともに、東アジアの国々とのつながりを改めて確認することができました。

当日は、市内外から約180名の参加がありました。

○パネリスト報告等

「重源と中世の開発」 服部英雄氏(九州大学大学院教授)

「後漢時代の王景と芍陂（しやくひ 安豊塘）」 村松弘一氏(学習院大学教授)

「古代韓半島のため池と偉人」 羅鐘宇(ナ ジョンウ)氏(韓国 圓光大学教授)

○パネルディスカッション

◇コーディネーター

工楽善通氏(大阪府立狭山池博物館館長・大阪狭山市立郷土資料館館長)

◇パネリスト

服部英雄氏(九州大学大学院教授)

村松弘一氏(学習院大学教授)

羅鐘宇(ナ ジョンウ)氏(韓国 圓光大学教授)



パネルディスカッション風景